

No	ご質問内容	回答欄
1	現状Peppolでは 請求データが対象になっている認識ですが 見積等 業界EDI(ex.流通BMS)のレベルには どのような計画になっているのか？	Peppolの対応範囲としては請求書データの発行/受取に関する分野となります。見積を含めた受発注については、各EDIの利用が想定されています。 https://www.nta.go.jp/about/introduction/torikumi/digitaltransformation2023/zeimugyousei.htm
2	SSのデジタルインボイスを利用する場合、取引先の発行側、受け手側それぞれ必要な環境はどの様になりますか？例えば、B to Bや楽楽請求、billoneなどのデジタルインボイス対応サービスを利用していればOKなのでしょうか？	ご認識の通りです。対応サービスであっても、利用にあたり、PeppolID発行等の申込みが必要になる事が想定されますので各社へご確認頂けますようお願いいたします。なお、BtoBプラットフォーム請求書については、相互接続テストも実施済みです。
3	1日に2回以上デジタルインボイスを取得する場合、取得済みの請求情報も改めて取得するのでしょうか？それとも、差分がダウンロードされますでしょうか？ また、抽出条件によってデータがダブったり、漏れたりすることはないと考えてよいでしょうか？	差分がダウンロードされます。ダブる事はありませんが、デジタルインボイス取得期間の範囲指定により、漏れる事はありません。範囲指定する運用をされる場合、画面上で未着ステータスの物がないか、ご確認ください運用となります。 なお、PeppolIDは、1法人につき1ID発行されます。請求書は、PeppolIDに対して発行されるため、例えば検証環境で、同一のPeppolIDを複数会社コードに登録した場合、同じ請求書を重複して取得する事になります。
4	受領請求書について、締め請求の場合 仕入時に「仕入/買掛」が計上されている場合、締め請求書を受け取った場合はどの様な流れになるのでしょうか？	デジタルインボイスオプションは、受け取ったデジタルインボイスから支払伝票を自動作成する仕組みとなります。締請求（デジタルインボイスの受取前に「仕入/買掛金」が計上されているケース）の利用を想定しておりません。未払金の請求などで利用いただく想定となります。もし、締請求でご利用頂く場合には、仕入/買掛はGLに計上、デジタルインボイスからは伝票種類「支払のみ」で計上する運用となります。
5	現時点での世の中のデジタルインボイス普及率がお分かりになりましたら教えてください	公的な機関からはデジタルインボイスの普及率に関する発表はされておりません。 当日、事務局より以下の回答をさせていただきました。 「2023年時点で約9%（導入済み）、23.7%（導入予定）認知度は42.1%です。」 こちらは、EIPAの幹事法人である弥生株式会社が実施した調査結果の数値となります。 「インボイス制度に関する意識調査 2023」 https://www.yayoi-kk.co.jp/company/pressrelease/20230530.html 調査期間：2023年3月20日～2023年3月24日 調査対象：全国の個人事業者および30名以下の小規模事業者2,500名 調査方法：インターネットによるアンケート調査 その他、同じくEIPAの幹事法人であるウイングアーク1st株式会社では、大企業（売上100億以上）を対象とした調査を実施されています。 「大企業を中心としたインボイス制度対策状況調査」 https://corp.wingarc.com/public/202312/news2663.html